

済生会小樽病院 公開・オプトアウト書式

①	申請番号	R7-1
②	研究課題名	精神科医が緩和ケアチームで行うアドバンス・ケア・プランニング（ACP）の実践
③	情報の利用目的及び利用方法 （他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	当院で行っているACPにおいて、ACPがどのように反映され、希望通りのエンドオブライフが過ごせているかの検証をすることを目的に後ろ向き調査を行う。個人が特定出来ないよう配慮した上で学会や論文などで発表する。
④	利用または提供する情報の項目	癌腫、平均年齢、性別、家族の有無、代理意思決定者、希望する療養場所、希望する療養場所で亡くなることができたか、ACP施行率、希望する医療処置、終末期における鎮静率とし、カルテにて後ろ向きに調査を行う。
⑤	対象者及び対象期間	2022年4月1日から2024年3月31日までの2年間に於いて、緩和ケア外来、緩和ケアチーム介入患者で上記期間に介入し既に亡くなっている84人を対象に調査を行う。
⑥	利用の範囲	学会報告、論文での発表にて利用する。本研究で得られた結果は、学会や論文などで公表されることはあるが、対象の名前などの個人情報は一切わからないように取り扱われる。また本研究目的以外に使用されることはない。
⑦	資料・情報の管理について責任を有する者	済生会小樽病院 【 緩和ケア内科 部長 菊地未紗子 】
⑧	問い合わせ先	済生会小樽病院 総務課 0134-25-4321

もし、研究や情報の提供に同意いただけない場合には、お手数ですが問い合わせ先までご連絡ください。
なお、同意の有無が今後の当院の対応などに影響することはございません。